御料理仕出し
うどん　そば
天　ぷら
鰻　蒲　燒
まつ屋

肉聲其まゝの高級
ビクターレコード枚1、50錢
日本物と音樂
蓄音器針は
ビクター針先　35錢
一度御試聽下さい
ビクター印レコード

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四（電三六三）

漆器
家具
種々取揃へてあります
是非御越下さい
平一丁目
和久井屋
電話四〇五番

原齒科醫院
平町土橋通り電話二一二番

外科
花柳病　專門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

高久病院
院長　醫學士　高久忠清
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
平町田町　電話五一三番

新築移轉
耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
平町南町（舊診療所向）電話一七〇番
大和田醫院

營業種目　石炭　コークス　玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
一、正味十貫目入　壹俵　金六十五錢
◎日本デ一番評番ノ良イ東京瓦斯コークス
一、コークス　壹俵　金壹圓三十錢
◎木炭ノ三倍御德用ナ丸通ノ玉炭
一、玉炭　大箱壹箱　金貳圓
配達ハ一俵ヨリイタシマス
電話二一三七番
平驛前
阿部石炭商店

永久不變
美術引伸
寫眞專門
平町三丁目
齋藤寫眞館
（電話呼三五九番）
——獨逸最新式高級機械設備——

いや……君、見違ひたよ
いゝアイギを求めたね
いやコレカネ……
例の「ソレ」
正札堂さ
アハハ……
平町停車通り
正札堂

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店
西村屋藥舗
平町二丁目（電三）

生命
火災
保險代理店事務取扱
上事務員ヲ募集ス
御希望ノ方ハ御來談アリタシ
平町白銀町
加藤營業所　保險部

公債、兩替
債券貸商
多田井ワカ商店
平町大工町

常磐毎日新聞

日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷所

定價　一部金貳錢　一ヶ月拾錢（郵税五厘）
廣告料　五號十二字詰一行一日　五十錢
休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

四月三十日夕刊

非現代的現代人

大島正德

（四）

寔に自治公民の精神を涵養する意味から云へば、禍なるかなと云はなければならぬ。實はいろ〳〵の方面から觀察し得ることであるが私は現代の我々日本人はなほ未だ德川時代を歩みつゝあるものと云つてよいと思ふ選擧の神聖も分らず自治公民の根本義も分らず少しく智慧の廻つたものが投票權を株券と心得たり、馬券と思ひ違へたりしてゐる位であるから、精神の奥底に於ては我々は現に如何なる時代に住みつゝあるかを知らざるものと云つてよい、明治以來西洋では二三百年もかゝつて樹立した文明を僅かに六十年で突破したといふことは我が國民生活の進歩的なる所以と推稱されてゐるが、飜つて考へればそれは寔に皮層な進歩であつて、思へば思ふほど心細い次第とも云はねばならぬ私は此明治以來の進歩をかういふ風に形容してゐる即ち例へば大釜に水を一杯入れてそれに鐵の蓋をなし、その上から火を焚きつけたやうなものであるどん〳〵火を焚けば、その蓋に接した表面の水は俄かに暖まつて沸騰してゆくが併しながら大釜の底の水は依然として冷やかで元の德川時代そのまゝの温度をもつてゐるといふやうなものである

小店員募集
但し十五六歳にて
尋常小學卒業
月給を呈します
—玩具行商人募集—
詳細は面談
森下商店

自作農階級が一番多い石城郡

一年約三萬筆の土地移動

農村の生活狀態

平稅務署では農村の生活狀勢その他の資料にする目的で過般來全郡下に亘り調査を進めてゐるが今日までに調査決定したものは石城郡内の地租納額別だけでこれによると大體次の如くである

即ち地租五百圓以上を納稅するものは僅かに二人二百圓以上が二十七人、百圓以上が八十一人、五十圓以上が二百八十三人

三十圓　以上八百二十三人二十圓以上千二百七十五人、十五圓千百八十八人十圓以上千九百廿一人、七圓以上が千二百九十人、七圓以下が二萬二千七百五十四人、合計二萬九千六百四十四人（但し地租免稅者を含まず）と言ふ狀態で

此れに　依つて見ても石城郡地方に於ける農村の生活狀勢は先づ大半は中産階級に分布均霑されてゐる事が肯かれ同時に秋田、山形其の他新潟等の各縣に見るやうな大地主もその日暮しの小作人等も少く自作農階級が最も

多數を　占めてゐる譯で當地方に小作爭議の如きものが惹起しない理由も此處にあると觀られてゐる然し翻つてその移動振りは一ヶ年で約三萬筆と言ふ驚異的の數字を示してゐる即ち農村の

不況は　その極に達してゐる結果先祖傳來の田畑を賣り拂ふ者或は擔當にして金を借りる者等が多くなつた此の移動を現出したものである事も充分に察知出來る事である

平驛員が自彊術練習

体重が増進

豐崎平驛長は同驛千餘名の從業員中不健康者が大分多いのを遺憾とし去る十日以

成相山に股つて天の橋立興深し

山崎與三郎氏の端書

石城販賣利用組合長山崎與三郎氏は既記の如く松江市に於ける全國産業大會に列席の爲め西下したが廿七日付本社に寄せられた端書左記の如くである

松江の全國産業大會出席の途次大社參拜仕候、境内の宏大御社の崇嚴なる崇敬に不堪事に御座候、始めて山陰道の風光に接し天の橋立の成相山に股つて一興を溢し快此事に御座候

來毎朝六時と云ふと同驛倶樂部樓上に希望者を集め自彊術を施して居るが練習者四五十名の内今日では何れも體重三四百匁宛増進し日増し健康へと進むばかりか驛務の能率が向上して行くので同驛長はもとより練習者一同甦生の悦びに感謝を捧てゐる

赤チャン大會には弱い子供も大歡迎

その育て方に就いて専門醫が相談する

既報――今度平町で初めて開催される赤チャン大會は赤チャンの發育狀態を專門のお醫者が叮嚀に診察の上その赤チャンの育て方に就いて相談をするのが目的であるから丈夫な子供に限つた譯ではなく弱い子供も是非連れて行つて一度診て貰ふ樣にお薦めし度い但し生後六ヶ月以上滿二歳迄に限つて居る尙ほ希望者は豫め石城兒童研究會學務所（平第二小學校内）に申込んで置く必要がある

今度こそ開業の確信

磐銀の續休

休業中の平町磐城銀行では今次休業中單獨更生整理案を公表するまでにこぎつけ

家庭欄

草團子の造り方

材料＝上新粉百匁一本水及もち草適宜にあんの材料として小豆三合、砂糖百五十匁

拵へ方＝もち草はよく何度も水をかへてあらひ熱湯にてゆでなほ急ぐ時は重曹をちよつと入れてゆすぎ笊にあげてからよく廣げてさました後よく搾つてから庖丁で細かに切つておく次に上新粉を鍋又は鉢に入れ熱湯を徐々に入れてよく杓子にてかきまぜてから後手にてよくこねあげ適宜にちぎつて蒸籠の中に入れましてから二三十分間むしこれを取出して鉢に入れ摺木でよくつきますそれからもち草をこの中に入れましてよく兩手でこねよく草がまじつたところで適宜の大きさに丸めあんをつけて進める

◇　◇

海軍合格者

石城郡の氏名

石城郡本年度海軍志願合格者左記の如くである

水兵遠藤喜作、同鷲六平、同依田英夫、同河野時義、同小鍛治明、同宮本武、同上遠野友技、同吉田貞俊、同澤田穗、水（電信兵）藤田直四郎、同鵜沼時次郎、機關兵熊坂森安、同佐藤義則、同佐藤森義、同鈴木榮作、同鈴木菊一、同宇佐見登、同小泉九、同池田鐵藏、看護兵田邊正主、計五十嵐敏夫、同關根武

小名濱の商港起工式

來月十七日擧行

小名濱商港起工式は五月十七日に擧行する事と大體縣當局で内定した旨小名濱町に通牒があつたので鈴木町長高木助役の兩名は廿八日出縣し起工式當日に於ける諸準備其他各般の打合せをなした

日午前十時から總會を開き諸般の協議終つて川崎本社長の講演あり茶話會に移り浪花節の餘興等にて終日賑つた

關西の旅から

―磐女關西旅行團―

（第一信）僅かに散り殘つてゐる櫻の花に春を惜しまれる四月廿五日さゞろく胸をおさへながら百七十餘名の大旅行團は車中の人となりました、いろ〳〵の話遊びにはしやいでゐる中に上野停車場に着きました、土くさい青上に夢見てゐた大帝都は大きな大きな姿を私達の前に表してくれました一同元氣に下車し直ちに地下鐵にて淺草に向ひました、葉櫻に光る日の光りは暑い程復興の業を進めつゝある町をきよろきよろ見廻しながら觀音樣に參拜し地下鐵にて再び上野にかへり公園に行きました、動物園、帝室博物館美術館等只々驚きながら見ていつの間にかつかれてゐる足を高架電車を借りて東京驛につきました、夕暮れ迫つた町を美しいシャンデリヤの輝めく丸ビルに行き樂しい夕食を取りました、これから銀ブラをして九時卅四分で大津へ向ひます一同無事です（四月廿五日）

（第二信）冷々と假睡の中に夜を明しました、うら〳〵と昇る旭日に驚ろいて眼を醒すと相變らず汽車はひた走りに走つて午前十時三十六分大津驛につきました、それから琵琶湖上の洋々と湛へられた水の上に浮べられた汽船に一同乘り込み三井寺瀨園の唐橋等湖邊の八景を船上より見物し石山寺に詣で再び船中の人となり坂本についてこれよりケーブルカーで比叡山に登りました今でも籠等を使用してゐるのには本當に驚きました。ケーブルカーを下り樹々の深い鶯の聲珍らしい森を過ぎて延曆寺に詣で山頂で酒井先生音頭の下に萬歳を唱へ再びケーブルカーで下山し後電車で五條の辨慶樓に一同無事始めてゆるやかな氣持で宿りました（四月廿六日）

縣下武道大會に平組が優勝

青天目鵜沼組

廿一日縣下武道大會に於ける柔道部は午後五時に至つて漸く閉戰となつたが遂に平本宮の決勝戰で平の青天目鵜沼組の勝となつた

立候補少數

鹿島村議選擧

石城郡鹿島村では六月二日執行の村議選擧を一目くり上るため現村議總辭職をなし來る二日執行の命令が出たが三日前の二十九日になつても立候補届出定數に滿たず

明日の豫報

天氣　南西の風　晴れ多少曇る

◎のどかな春！
旅行に！散策に！皆さん御待ち兼ねの……
春の中折
鳥打帽子
子供さんの帽子
本月のウエンドウは春帽を陳列致しましたから御批評下さい
ツルヤ
四丁目
電話百四十番

體溫器
興暖計
關内藥局
電四〇番